



## 2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)



2022年10月28日

上場会社名 株式会社 アクシーズ  
 コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊地知 高正  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 榊 茂  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 099-223-7385

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	5,513	1.9	483	40.9	497	44.1	349	43.4
2022年6月期第1四半期	5,408	6.6	817	9.3	891	13.7	616	13.8

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 341百万円 (45.7%) 2022年6月期第1四半期 628百万円 (17.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	62.16	
2022年6月期第1四半期	109.79	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	21,621	18,580	85.9
2022年6月期	21,408	18,772	87.7

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 18,580百万円 2022年6月期 18,772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		95.00	95.00
2023年6月期					
2023年6月期(予想)		0.00		95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	1.3	1,300	47.0	1,400	47.6	1,000	48.5	178.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	5,617,500 株	2022年6月期	5,617,500 株
期末自己株式数	2023年6月期1Q	1,758 株	2022年6月期	1,758 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	5,615,742 株	2022年6月期1Q	5,615,851 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きがみられましたが、緊迫した国際情勢並びに急激な円安進行により資源価格上昇や物価高騰、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

鶏肉業界におきましては、主要製造コストである飼料原料価格が大幅に高騰していることに加え、その他人件費等の製造コストの上昇が継続しております。また、消費者の内食需要の高まりや他畜種に対する価格優位性から、鶏肉相場は安定して推移しておりますが、国内における鶏肉の生産が増加したことにより、需給バランスは緩んできており、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。

このような経営環境のもと、当社グループは、飼料製造段階から、飼育、鶏肉生産・加工までの全てをグループ内で行っていくことにより、様々なお客さまのニーズに応えることを目指しております。

食品事業では、将来の生産能力増強及び効率化・省力化を企図した鶏肉加工工場群の改修投資を実施し、増産体制構築のための設備投資を順次進めております。

このような状況下、安定した鶏肉相場を背景に売上高は前年同四半期比2.7%の増収となったものの、飼料原料価格の大幅な高騰を受けて利益面は前年同四半期比51.3%の減益となりました。

外食事業におきましては、本年8月に新店舗を出店しましたが、行動制限の緩和により外出機会が増加したことによる人流の変化等の影響もあり、既存店舗の売上は減少しました。これにより、売上高は前年同四半期比2.1%の減収となり、利益面も人件費等の増加を受けて前年同四半期比29.9%の減益となりました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高55億13百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。利益面につきましては、営業利益4億83百万円（同40.9%減）、経常利益4億97百万円（同44.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億49百万円（同43.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①食品

売上高は45億8百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益は2億90百万円（同51.3%減）となりました。

#### ②外食

売上高は8億58百万円（前年同四半期比2.1%減）、セグメント利益は87百万円（同29.9%減）となりました。

#### ③エネルギー

売上高は1億46百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は1億5百万円（同9.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億13百万円増加し、216億21百万円となりました。これは、主に現金及び預金が11億16百万円減少したものの、有形固定資産が7億22百万円、原材料及び貯蔵品が5億33百万円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ4億5百万円増加し、30億41百万円となりました。これは、主に買掛金が3億8百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1億92百万円減少し、185億80百万円となりました。これは、利益剰余金が1億84百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年8月12日の「2022年6月期 決算短信」に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,280	5,164
受取手形、売掛金及び契約資産	1,918	1,973
製品	286	294
仕掛品	433	538
原材料及び貯蔵品	1,078	1,612
その他	1,006	946
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,003	10,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,044	1,144
機械装置及び運搬具（純額）	910	929
工具、器具及び備品（純額）	3,380	3,214
土地	2,370	2,370
建設仮勘定	1,645	2,422
その他（純額）	115	106
有形固定資産合計	9,466	10,188
無形固定資産	1	0
投資その他の資産	937	904
固定資産合計	10,404	11,093
資産合計	21,408	21,621
負債の部		
流動負債		
買掛金	522	831
未払金	1,286	1,218
未払法人税等	220	136
賞与引当金	—	133
その他	172	236
流動負債合計	2,202	2,555
固定負債		
社債	35	35
役員退職慰労引当金	50	52
退職給付に係る負債	204	212
その他	142	184
固定負債合計	433	485
負債合計	2,635	3,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	17,777	17,593
自己株式	△2	△2
株主資本合計	18,656	18,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116	108
その他の包括利益累計額合計	116	108
純資産合計	18,772	18,580
負債純資産合計	21,408	21,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,408	5,513
売上原価	3,631	4,041
売上総利益	1,776	1,471
販売費及び一般管理費	958	988
営業利益	817	483
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	4	2
受取家賃	5	4
為替差益	2	—
受取保険料	1	12
その他	58	4
営業外収益合計	74	25
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	—	9
その他	0	0
営業外費用合計	1	11
経常利益	891	497
税金等調整前四半期純利益	891	497
法人税、住民税及び事業税	306	187
法人税等調整額	△32	△38
法人税等合計	274	148
四半期純利益	616	349
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	616	349

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	616	349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△7
その他の包括利益合計	11	△7
四半期包括利益	628	341
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	628	341
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2021年7月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				四半期連結損益計算書計上額（注）
	食品	外食	エネルギー	計	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,391	877	139	5,408	5,408
外部顧客への売上高	4,391	877	139	5,408	5,408
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,391	877	139	5,408	5,408
セグメント利益	596	124	97	817	817

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2022年7月1日 至2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				四半期連結損益計算書計上額（注）
	食品	外食	エネルギー	計	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,508	858	146	5,513	5,513
外部顧客への売上高	4,508	858	146	5,513	5,513
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,508	858	146	5,513	5,513
セグメント利益	290	87	105	483	483

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「エネルギー」について金額的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。